

昨日の論点整理（案）について

2011.12.07 枝廣淳子

「今回の論点整理だと、省エネと再エネと化石エネルギーの使用についてまずやって、残ったところは原発で、という考え方のように見えますが、原発をどうするのかを決めた後で、「じゃあ残りの部は分どうするか？」ということが、今回のゼロベースの意味ではないかと理解していたので、そのところは、おおむねみんなの理解が——「共通理解」と書いてあるようですが、私は少なくとも違うと思っております。」

と発言した部分への補足です。

「原発はこれだけにしたい。だから残りの部分は、省エネ・再エネ・クリーンな化石燃料でできるよう、政策をつくっていく」という考え方もあるのではないかな。

エネルギーを経済性などだけでなく、倫理的な側面からも考えたいと思う私にとっては、「残りは原発ね」という持って行き方はちょっと違うのではないかな、と思えるのです。

もう1つ、再エネを「最大限」加速する、ということですが、「最大限」とは、上限や目標のない真空地帯では意味がない／ありえない、と思っています。

ここでの「最大限」とは、どのような犠牲を払っても、ということでしょうか？

この夏も、企業を始め「最大限」の節電努力をしました。そのとき、「15%削減」という目標・上限値があったからこそ、そこに向けて「最大限」の経営努力を行ったのだと思います。

上限値や目標がないところで、「最大限」加速すると言われても、どのくらいのリソース（資金その他）を突っ込むのか、どのくらい規制をし、または緩和するのか、はどうやって決まるのでしょうか？ 単なる「できるだけやりましょうや」という感じになってしまいませんか？

厳しい目標もなく、「最大限」やって、あとは原発ね、という考え方だとしたら、違うのではないかな？と、思っの発言でした。

なお、事務局からのご回答がいただけませんでしたが、「効果的な国民的議論の検討」がどのようにどこまで進んでいるか、この後、具体的にどのように国民的議論を展開していくのか、明示いただければと思います。

以上です。

どうぞよろしくお願いいたします。